

千葉市制100周年記念「千葉市内出土考古資料優品展」を開催します！

～千葉市の優品一挙公開・関連講座も開催～

千葉市埋蔵文化財調査センターでは、毎年、市内の発掘成果を展示する「埋蔵文化財ロビー巡回展」を実施しているところですが、今年は市制100周年を記念して内容を拡大し、各時代の優品を一挙に公開する「千葉市内出土考古資料優品展」を開催しますので、お知らせします。

1 千葉市内出土考古資料優品展

(1) 概要

千葉市内で発掘された各時代を代表する出土品180点を展示します。対象とする時代は旧石器時代から近世であり、学術的価値が高い資料や、造形的に優れた資料を選びすぎり、外部機関が所蔵する資料も含めて一挙公開する初めての試みです。

(2) 会場・期間

ア 千葉市立郷土博物館（1階フロア全面）

展示期間 令和3年11月17日(水)～令和4年1月23日(日)

イ 千葉市埋蔵文化財調査センター（常設展示スペース）

展示期間 令和4年2月3日(木)～3月10日(木)

※ギャラリートーク：2月5日（土）・3月5日（土）千葉市埋蔵文化財調査センター
11時・14時の1日2回、各回30分程度

(3) 展示資料数

総数 180点（郷土博物館では、古墳時代5点を除く175点を展示）

内訳 旧石器時代31点・縄文時代54点・弥生時代13点

古墳時代55点・古代19点・中近世8点

(4) 主な展示資料（詳細は、添付資料参照）

旧石器時代 槍先形尖頭器（六通神社南遺跡）

縄文時代 鯨骨製腰飾（有吉南貝塚）、弾形角製品（犢橋貝塚）、アワビ象嵌耳飾（月ノ木貝塚）、土偶（中鹿子第2遺跡）、土版・土偶（内野第1遺跡）

弥生時代 石剣・大陸系磨製石器（踏形遺跡）

古墳時代 石釧・石製模造品（七廻塚古墳）、金製飾金具（伝生実町帝鑑）、鈴釧（太田法師遺跡）、形象埴輪（人形塚古墳）※埋蔵文化財調査センター会場のみ展示
水鳥形土製品（南二重堀遺跡）

古代 「下総国千葉郡千葉郷」刻書紡錘車（南麦台遺跡）、石権・計量枘（黒ハギ遺跡）、青銅仏（男神）（後沢第1遺跡）、青銅仏（男神）（小山遺跡）、石仏（黒ハギ遺跡）、金銅鈴（観音塚遺跡）、把手付中空円面硯（五十石遺跡）

中近世 蔵骨器（猪鼻城跡）、無量寿経銘文墨書土器（廿五里城跡）

2 関連講座

(1) 日時

令和4年1月22日(土)・29日(土)の全2回 10:00～11:30 (各回共通)

(2) 会場

千葉市生涯学習センター 3階大研修室(中央区弁天3-7-7)

(3) 演題及び講師

1月22日(土) 「千葉市内出土の名宝(縄文時代)」

講師 西野 雅人(千葉市埋蔵文化財調査センター所長)

1月29日(土) 「千葉市内出土の名宝(古墳時代～平安時代)」

講師 塚原 勇人(公益財団法人千葉市教育振興財団)

(4) 定員

各回とも、会場定員40名

※Zoom配信での定員100名

(5) 参加方法

事前申込制。

会場での観覧の場合は往復はがきかメールで、Zoom配信での観覧の場合はメールで以下の宛先に申し込み。申込多数の場合は抽選。

【申し込み・問い合わせ】

千葉市埋蔵文化財調査センター

〒260-0814 千葉市中央区南生実町1210

【電話】043-266-5433 【メール】maibun.fukyu@c11f.jp

(6) 申込期間

令和3年12月6日(月)～令和4年1月14日(金) 必着